

ケア・サポートの時代から、
イコールパートナーとして、地域で「共に暮らす」
支え合いの時代へ！

暮らしを創る

認知症ケアの新しい視点

編/内出幸美 社会福祉法人典人会理事・総所長 情報科学博士
照井孫久 東北公益文科大学公益学部 教授 社会福祉博士

【総論編】認知症ケアに生かす家政学・生活科学の視点

- I 認知症ケアの歴史
- II 認知症ケアの新しい視点
- III 家政学・生活科学とは
- IV 家政学・生活科学の考え方
- V 家政学・生活科学に基づく認知症ケアの再構築
- VI 暮らしを創ろう

【実践編】認知症ケアにおける「クリエイティブ・ライフ」への挑戦

- I ホットしてもらえるお風呂を目指して
- II 「帰りたいところ」はどこなのだろう？
- III ホームの生活そのものが褥瘡ケア
- IV 人生の終末期をどこで迎えるか
- V 最後まで「食」へのこだわりを
- VI 寝たきりでもその人らしさを
- VII 「日課表」を見直すことから始めよう
- VIII 共に暮らす利用者に礼を尽くす
- IX 我が家のテレビに映るものは？

【総括編】認知症高齢者の「クリエイティブ・ライフ」に向けて

- I 改めて「生活」について考える
- II 「その人らしい」生活を創り出す取り組み
- III 「ケアの特性」を考える
- IV 「レシプロシティ」と「ケア」をめぐって



■頒布価格2,500円

◆送料は別途頂きます

ご注文は下記研究会まで

☞ 地域のなかで一般家庭と並んで存在する「一つの家族であり、住居である」はずのグループホームのアイデンティティが、年々薄れてきている危機感を、このところ筆者は強く感じている。この傾向に待ったをかけるには、グループホームにおける高齢者の生活を、「その人にとっての普通の生活」に近づける取り組みが必要である。そこでの最大のポイントは、かかわるスタッフがその人の生活に興味をもち、「共に楽しく過ごす」ことができるように創意工夫を凝らすことである。その礎となるのが、筆者の提唱する「家政学・生活科学」の視点なのである。（総論編より）

クリエイティブ・ライフ研究会

〒020-0021 盛岡市中央通三丁目7番 30号 NPO 法人いわての保健福祉支援研究会内

TEL 019-604-8862 FAX 019-604-8863 e-mail: iwate@hfk.or.jp

http://www.hfk.or.jp